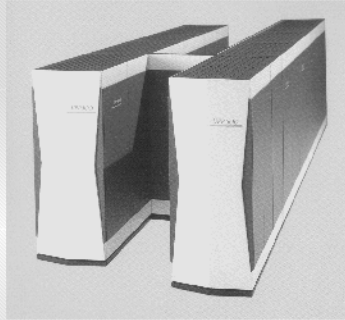


情報処理入門

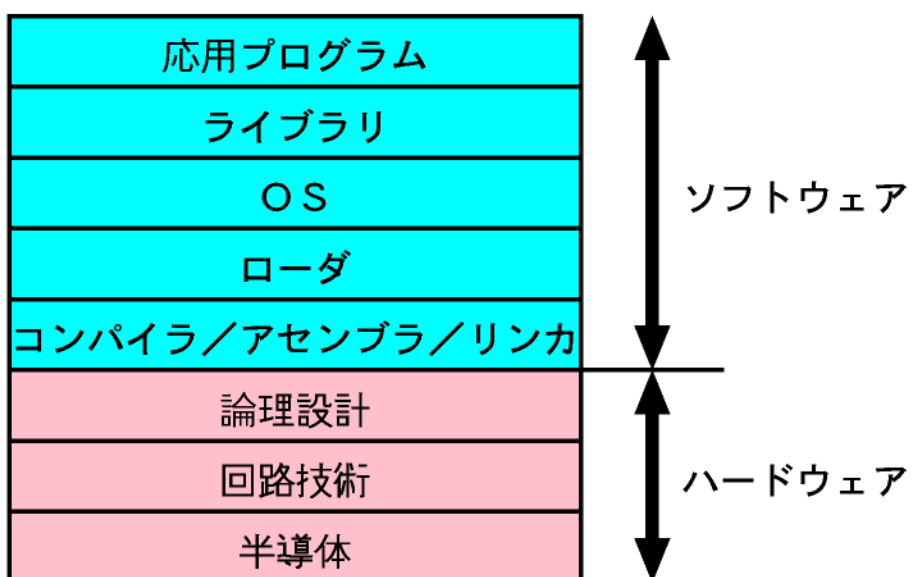
9章「スーパーコンピュータ」



中島康彦

§9.1 全く新しいコンピュータをどうやって作るのか

最終的に必要な開発物は ...



§9. 2 各開発部門には、どんな資源が必要か ...

あれ？ これでは作れない。

開発部門	必要な資源								
	応用プログラム	ライブラリ	OS	ローダ	コンパイラ等	論理設計	回路技術	半導体	
応用プログラム	○	○	○	○	○	○	○	○	
ライブラリ	○	○	○	○	○	○	○	○	
OS	○	○	○	○	○	○	○	○	
ローダ	○	○	○	○	○	○	○	○	
コンパイラ/アセンブラ/リンカ	○	○	○	○	○	○	○	○	
論理設計	○	○	○	○	○	○	○	○	
回路技術	○	○	○	○	○	○	○	○	
半導体	○	○	○	○	○	○	○	○	

↑
?

§9. 2 各開発部門には、どんな資源が必要か ...

まずアーキテクチャを決める

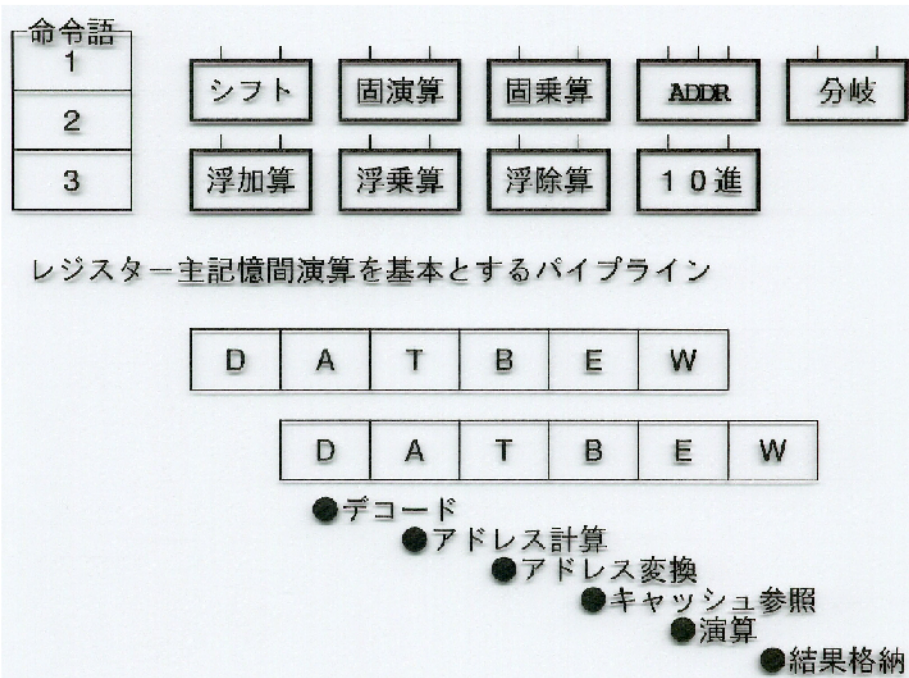
開発部門	必要な資源								
	応用プログラム	ライブラリ	OS	ローダ	コンパイラ等	アーキテクチャ	論理設計	回路技術	半導体
応用プログラム	○	○	○	○	○	○	○	○	
ライブラリ	○	○	○	○	○	○	○	○	
OS	○	○	○	○	○	○	○	○	
ローダ	○	○	○	○	○	○	○	○	
コンパイラ/アセンブラ/リンカ	○	○	○	○	○	○	○	○	
アーキテクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	
論理設計	○	○	○	○	○	○	○	○	
回路技術	○	○	○	○	○	○	○	○	
半導体	○	○	○	○	○	○	○	○	

↑
↓

§9. 3 従来型のスーパーコンピュータ

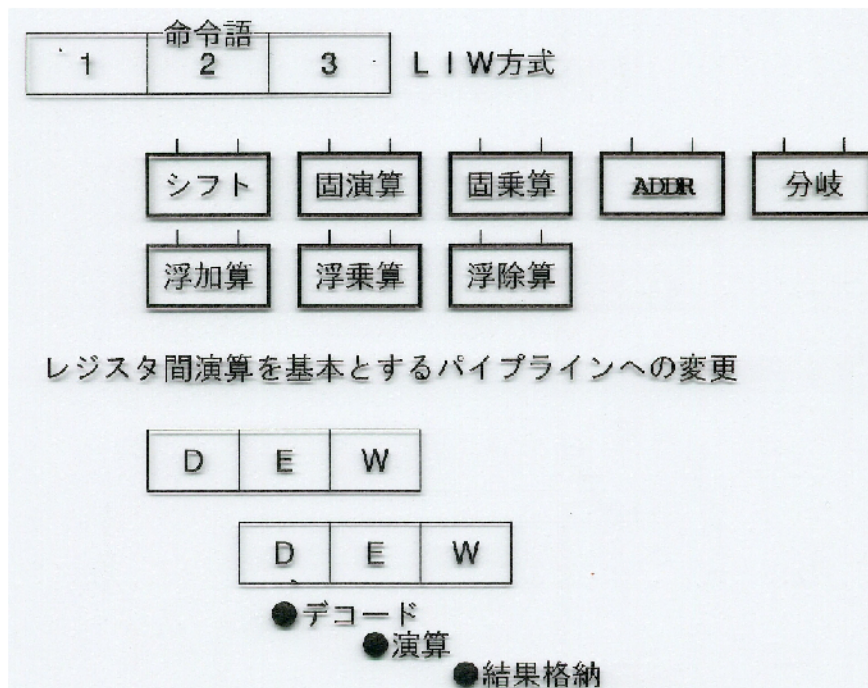
主に、科学技術計算の高速化を目的として作られる
銀行業務に使うスカラプロセッサに、ベクトルプロセッサを追加

▶ 従来のスカラプロセッサはIBM互換



§9. 4 新しい思想のスーパーコンピュータ

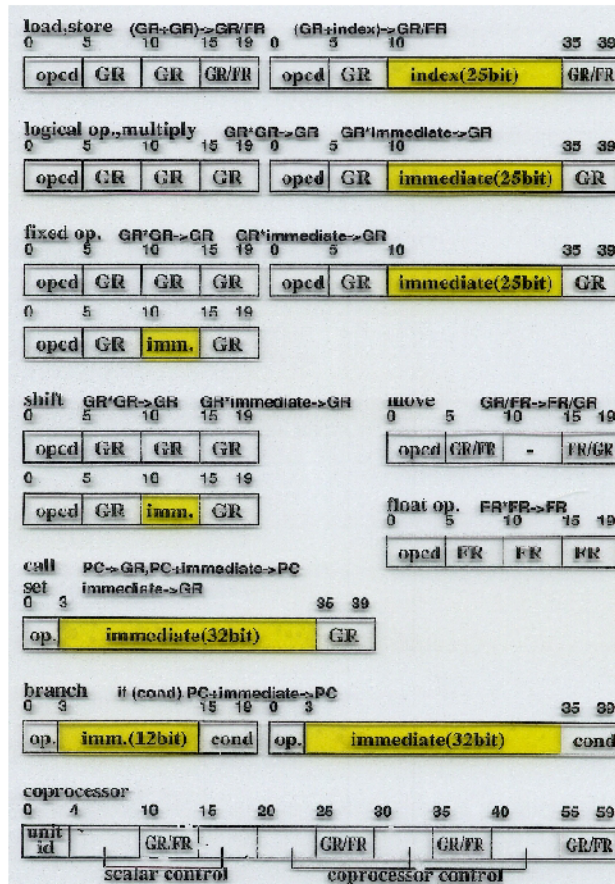
物量削減による価格性能比改善, 開発期間短縮(半年~1年)
マシンサイクル短縮と, 並列度の向上(対スーパスカラ)



§9. 5 最適な命令形式の決定

	0 3 4	28 24	48 44	63
2	load,store	float add/sub/cnv	float mul/div	
3	fixed op.,shift	float add/sub/cnv	float mul/div	
4	fixed op.,shift	load,store,move	float add/sub/mul/div	
5	fixed op.,shift	fixed op.	float add/sub/mul/div	
6	fixed op.,shift	load,store,move	branch	
7	fixed op.,shift	fixed op.	branch	
8	load,store,move	fixed op.		
9	fixed op.,shift	fixed op.,load,store,mul		
A	float add/sub/mul/div	fixed op.,load,store,mul		
C	load,store,move,mul	call,branch,set		
D	fixed op.,shift	call,branch,set		
E	float add/sub/mul/div	call,branch,set		
F	coprocessor (vector etc.)			

§9. 6 最適な操作形式の決定



§9. 8 トラブル発生時の検証手段が必須

新しい物を作るのだから、信頼できる既存の道具はない!

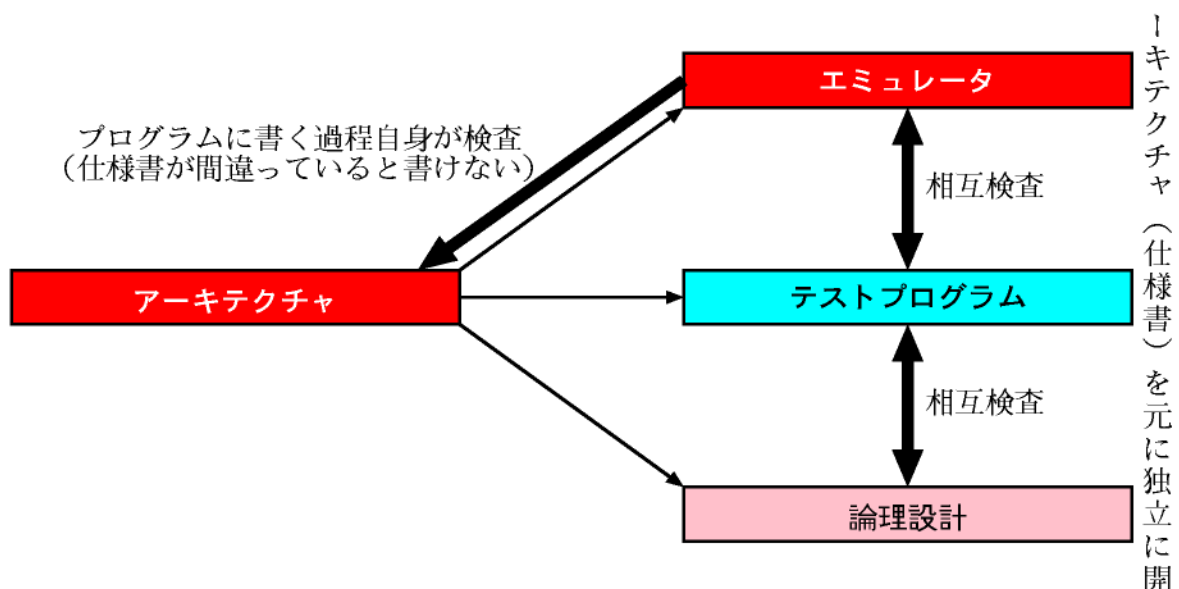
- ▶ アーキテクチャ(紙文書)のバグは誰が検出?
- ▶ エミュレータのバグは誰が検出?
- ▶ 論理設計のバグは誰が検出?

第3者にテストプログラムを作ってもらおうとして ...

- ▶ では、テストプログラムの間違いは誰が検出?

§9. 8 相互検査の仕組み

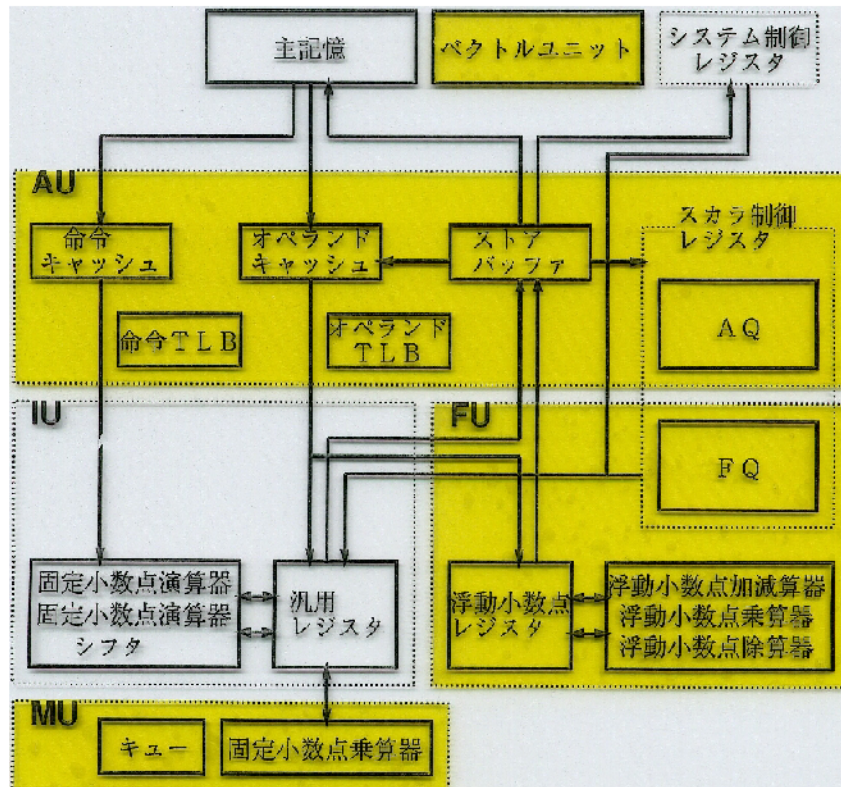
エミュレータを書く過程で仕様書のバグを検出
仕様書をもとに、各々独立に開発
エミュレータとテストプログラムをぶつけて品質向上
論理設計とテストプログラムをぶつけて品質向上



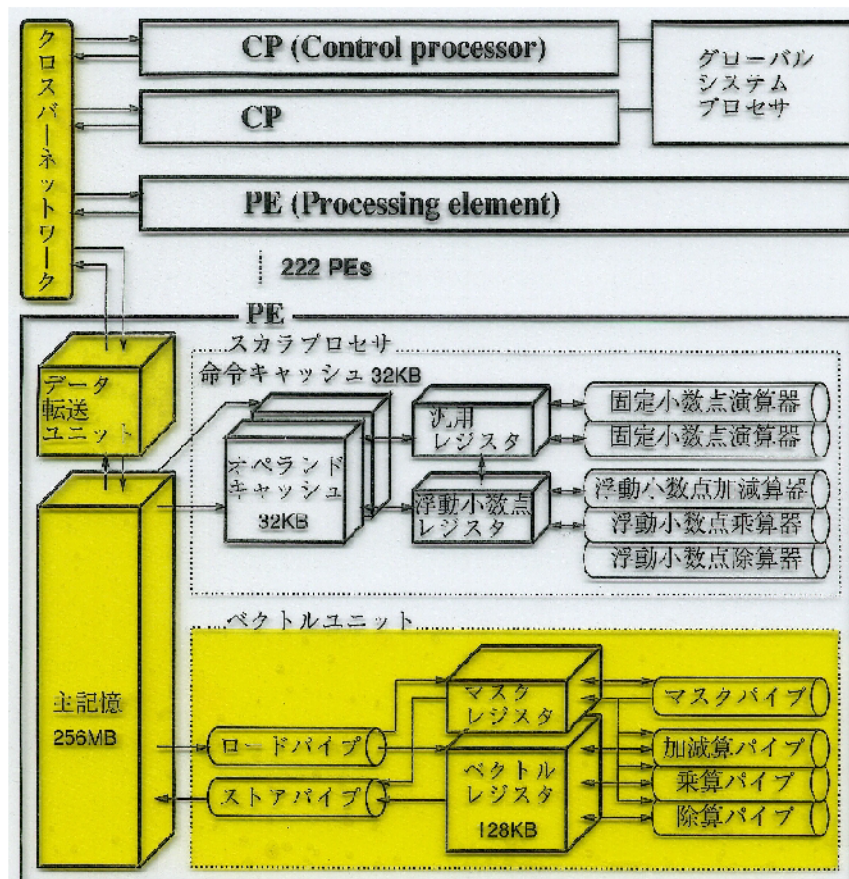
§9. 7 権利化と開発

特願H1-294300, H1-342992, H5-121049

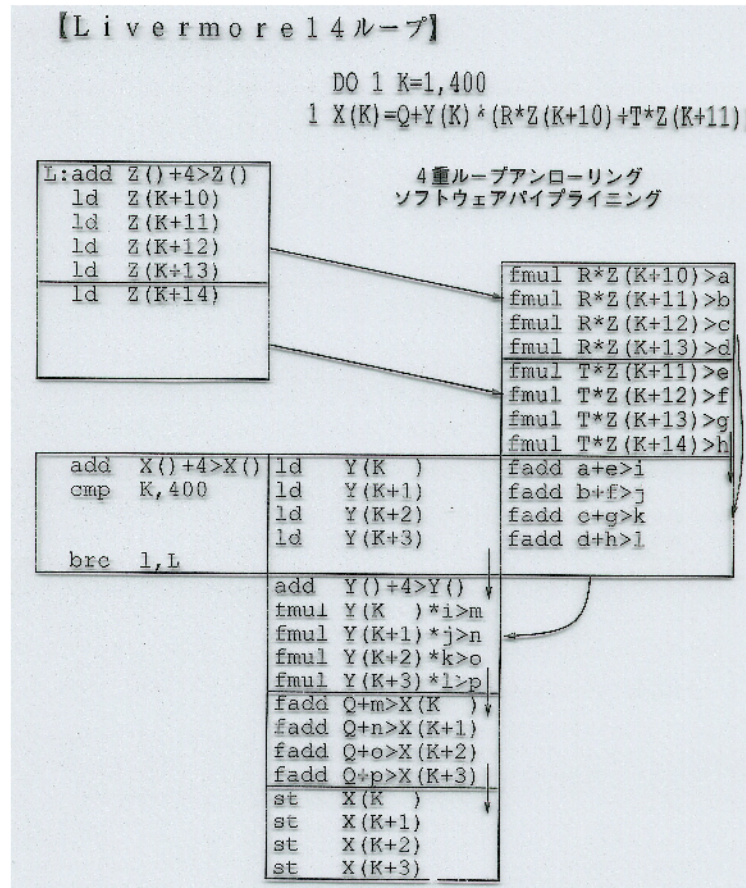
特願H7-31178, H7-36525, H7-49495



§9. 8 並列ベクトルスーパーコンピュータ



§9.9 発明した. 作った. で? 総合性能こそが重要!



§9.10 コンパイラによる命令スケジューリング

7	L:add Z()+4>Z()	add Y()+4>Y()	
2	ld Z(K+10)	fmul Y(K)*i>m	
2	ld Z(K+11)	fmul Y(K+1)*j>n	
2	ld Z(K+12)	fmul Y(K+2)*k>o	
2	ld Z(K+13)	fmul Y(K+3)*l>p	
2	ld Z(K+14)	fadd Q+m>X(K)	fmul R*Z(K+10)>a
3		fadd Q+n>X(K+1)	fmul R*Z(K+11)>b
3		fadd Q+o>X(K+2)	fmul R*Z(K+12)>c
2		fadd Q+p>X(K+3)	fmul R*Z(K+13)>d
2		st X(K)	fmul T*Z(K+11)>e
2		st X(K+1)	fmul T*Z(K+12)>f
2		st X(K+2)	fmul T*Z(K+13)>g
2		st X(K+3)	fmul T*Z(K+14)>h
4	add X()+4>X()	ld Y(K)	fadd a+e>i
4	cmp K,400	ld Y(K+1)	fadd b+f>j
4		ld Y(K+2)	fadd c+g>k
4		ld Y(K+3)	fadd d+h>l
7	brc 1,L		

111 MFLOPS

1 命令語当たりの平均操作数=2.1

38操作, 18命令(144バイト)

仮にスーパスカラ方式とした場合:

38命令(152バイト)

§9. 11 人間がスケジューリングすれば、まだまだ

2	L:ld	Z(K+10)	fmul	Y(K) *i>m	
2	ld	Z(K+11)	fmul	Y(K+1) *j>n	
2	ld	Z(K+12)	fmul	Y(K+2) *k>o	
2	ld	Z(K+13)	fmul	Y(K+3) *l>p	
2	ld	Z(K+14)	fadd	Q+m>X(K)	fmul R*Z(K+10)>a
3	add	Z() +4>Z()	fadd	Q+n>X(K+1)	fmul R*Z(K+11)>b
3	add	Y() +4>Y()	fadd	Q+o>X(K+2)	fmul R*Z(K+12)>c
2	ld	Y(K+3)	fadd	Q+p>X(K+3)	fmul R*Z(K+13)>d
2			st	X(K)	fmul T*Z(K+11)>e
2			st	X(K+1)	fmul T*Z(K+12)>f
2			st	X(K+2)	fmul T*Z(K+13)>g
2			st	X(K+3)	fmul T*Z(K+14)>h
4	add	X() +4>X()	ld	Y(K)	fadd a+e>i
4	cmp	K, 400	ld	Y(K+1)	fadd b+f>j
4			ld	Y(K+2)	fadd c+g>k
E	brc	l, L			fadd d+h>l

1 2 5 M F L O P S

1 命令語当たりの平均操作数 = 2. 4

3 8 操作, 1 6 命令 (1 2 8 バイト)

仮にスーパスカラ方式とした場合:

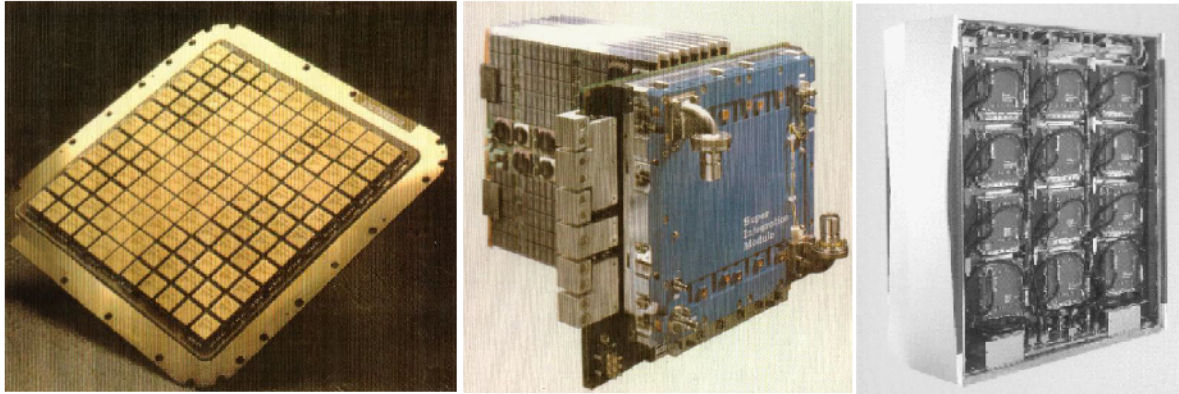
3 8 命令 (1 5 2 バイト)

§9. 12 簡単なプログラムを使った測定



§9. 13 世界最高速 並列ベクトルスーパーコンピュータ

VPP500として出荷



その後, VPP300, VPP700, VPP800, VPP5000へ
ただし, 最先端技術を投入しても, 数年しかもたない!

今日はここまで